

夏の長距離ドライブ。クルマに不具合が起きると台無しです。
事前にタイヤのチェックを。ガソリンも早めに満タンで。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



小学生信号無視

この映像の訴求ポイントは…

- ◎対向車線が混雑時の横断歩道は飛び出し要注意箇所です。
- ◎アクセルペダルからブレーキペダルに足を移動します。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



交差点、右折でもう少しで、自転車と！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎視野に入っている、脳が見ていないと見えません。
- ◎「右見て、左見て、また右を見る」意識的に視野を動かそう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号の変わり目に事故

この映像の訴求ポイントは…

- ◎事故を起こせば目的地は大幅に遅れます。
- ◎もらい事故。シートベルトとチャイルドシートを忘れずに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



ぶつからないで、よかった！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎こちらから良く見えていても、相手も見ているとは限りません。
- ◎「出てこないだろう」ではなく「出てくるかも」。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



突然のバースト

この映像の訴求ポイントは…

- ◎走行中にパンクしたら、ハンドルを急に切ってはいけません。
- ◎普段の空気圧チェックもお忘れ無く。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】安全な車はどれ？国が行う新車の安全性テスト

国が毎年実施している自動車アセスメント。市販されている乗用車を対象に安全性の評価を行うものです。消費者保護を目的に欧米で行われていた制度を参考に日本向けにアレンジして1995年から行われています。これまで約20年の間に評価を行った車種は延べにして100車種を超え、自動車メーカーに対して安全性向上への努力を促す役割を果たしています。

テスト内容は多岐にわたります。事故時に乗車している人たちの怪我の度合いを評価するための複数の衝突試験や、車が歩行者にぶつかった際にできるだけ怪我の度合いを軽減する構造を評価する試験、シートベルトのしやすさを評価する試験、ブレーキ性能試験、最近では新車で装備が進んでいる安全運転支援システムを評価する試験などです。

テスト対象車は、前年に市販された乗用車で売れ筋の車種を選びます。また、メーカーが希望する車種もテストを行います。ただし、テストの公平性を保つために、テストに使う車両は自動車販売店で売られている新車を匿名で購入しています。衝突試験は数種類があるので、1車種で複数台を購入してテストします。

自動車の技術進歩や安全基準の強化とともにテスト方法や評価方法も変わっていますが、年々、テスト対象車種が獲得する得点水準が上がってきており、新車の安全性能の向上を後押ししています。残念なことに自動車に関わる交通事故は毎年多数起きていますが、交通事故全体に対する死亡事故の割合は徐々に下がってきています。この死亡事故の減少には、自動車の安全性能の向上が指摘されています。

最近では、自動車メーカーも燃費性能基準とともに、自動車アセスメントの評価結果を示したステッカーを展示車に貼付するなど、消費者に対して積極的に安全性をアピールするようになっていきました。新車を購入される際には、好きなメーカーやデザイン、性能だけでなく、自動車アセスメントの評価結果も考慮に入れてみてはどうでしょうか？



自動車アセスメントにおけるテスト風景。左写真は衝突時の乗員の安全性能を評価する前面衝突（フルラップ）試験。

生身の人のかわりにダミー人形を載せて衝突による被害を人体への障害値を算出して評価します。

右写真は反対に“衝突させない”ための予防安全技術の試験。前方に前走車を模したバルーンを設置し、そのバルーンをセンサが認識して自動ブレーキにより追突を防げるかテストします。運転操作はロボットが行います。